

2019 年度事業報告

(2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日)

(公財)経団連国際教育交流財団

1. 公益事業

(1) 日本人大学院生奨学事業 (日本人大学院生奨学金)

学業、人物ともに優秀であって広く社会に貢献する意志を持ち、将来、研究者として活躍することが期待される日本人大学院生を対象に、海外の大学院に留学するための奨学金を支給した。なお、19 年度には東京倶楽部奨学生への奨学金支給がなかったため、(一社)東京倶楽部からの助成は受けなかった。

① 2020 年度奨学生の募集・選考

8 大学から推薦のあった 17 名の応募者に対して選考 (書類選考 : 10 月 8 日、面接選考 : 11 月 8 日) を行い、奨学生 2 名を選抜した。

② 奨学金の支給

2018 年度奨学生 1 名、2019 年度奨学生 1 名の合計 2 名に対して奨学金を支給した。

(2) 産業リーダー人材育成奨学事業 (産業リーダー人材育成奨学金)

大学院卒業後、日本企業において活躍する意志を持つ大学院博士前期課程 1、2 年生で、社会科学系および理工系の専攻者を対象に、海外の大学院に留学するための奨学金を支給した。

① 2020 年度奨学生の募集・選考

8 大学から推薦のあった 11 名の応募者に対して選考 (書類選考 : 10 月 8 日、面接選考 : 11 月 8 日) を行い、奨学生 1 名を選抜した。

② 奨学金の支給

2018 年度奨学生 1 名、2019 年度奨学生 2 名の合計 3 名に対して奨学金を支給した。

(3) 経団連グローバル人材育成スカラーシップ事業

将来、わが国のグローバルな事業活動を担い、国際的に活躍する意欲を持つ日本人大学生で、海外の大学に留学しようとする者を対象に、経団連主要会員企業からの寄附金も得て奨学金を支給した。

① 奨学金の支給および奨学生への指導・助言

2019 年度奨学生 36 名に対して奨学金を支給した。また 4 月 5 日には、2019 年度奨学生を対象に、留学生活や将来の進路に向けての抱負、当面

の課題などを共有するための「課題共有会」を開催したほか、ソーシャル・ネットワーク等を利用して留学準備の支援や関連情報の提供・助言等を行った。

② 経団連グローバル人材育成スカラシップ事業募金の実施

本事業の実施に充てる費用の一部について、経団連主要会員企業を対象に、経団連と共同で寄附金の募集を行った。

③ 2020年度奨学生の募集・選考

49大学から応募のあった274名の学生について、9～10月に書類選考を実施して60名を書類選考通過としたうえで、12月2日に面接選考会を実施し、20名を合格とした。

④ 「経団連グローバルキャリア・ミーティング」開催への協力

本奨学金を受給して卒業した学生、その他海外留学を経験した学生を対象とし、7月8日に開催された合同就職説明会「経団連グローバルキャリア・ミーティング」に協力した。

2. 会 議

事業計画・同収支予算、事業報告・同収支決算等、当財団の重要事項を審議するため、理事会を4回（うち「決議の省略」による開催1回）、評議員会を1回、それぞれ開催した。

（1）理事会の開催

① みなし決議に関する理事会（5月21日）

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）事業報告および財務諸表等について、法人法に基づく手続きによる決議の省略（みなし決議）にて、可決した。

② 第19回理事会（6月6日）

理事の職務執行状況に関する報告を行った。

③ 第20回理事会（6月6日）

理事長および常務理事の選任に関して審議し、選出した。

④ 第21回理事会（3月17日）

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）事業計画および収支予算、2020年度資金調達および設備投資の見込み、第9回定時評議員会の招集、ならびに経団連グローバル人材育成スカラシップ奨学金給与規程の改訂に関して審議し、可決した。

(2) 第8回定時評議員会の開催（6月6日）

2018年度事業報告および附属明細書等、2018年度財務諸表等、財団評議および役員を選任に関して審議し、可決した。

3. その他

当財団のホームページで、日本人大学院生奨学生ならびに産業リーダー人材育成奨学金奨学生の留学報告を紹介した。

(<http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/ishizaka/report.html>)

以上